



小学生版

## 環境学習講座のご案内



から募集開始!

小1~3と保護者

### 植物探索と花の万華鏡作り

公園の植物と、普段は見られない環境施設の見学をし、花の万華鏡を作ります。

- 開催日/11月28日(日)
- 募集/11月1日から
- 場所/しながわ中央公園他

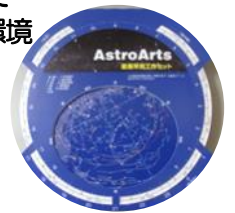


小3~6と保護者

### ★宇宙旅行の疑似体験と星座早見盤作り

国立天文台制作ソフト「Mitaka」で地球を飛び出し、太陽系から地球環境を考え、星座早見盤を作ります。

- 開催日/12月12日(日)
- 募集/11月11日から
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮



小1~6と保護者

### 庭師と一緒に作る和風リース

庭師の仕事について話を聞き、植木のごみや廃材を活かしたリースを作ります。

\*材料等は変更になる場合があります

- 開催日/12月19日(日)
- 募集/11月21日から
- 参加費/200円
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮



\* 過去講座の作品

小1~2と保護者

### 楽しいおやつ教室とキャンドル工作

カルビーの工場や原材料などについて学び、使用済み食用油でキャンドルを作ります。

- 開催日/2月6日(日)
- 募集/1月11日から
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮



小3~4と保護者

### ギンギンプロペラを作ろう!

振動(しんどう)によって動くシンプルなおもちゃや糸電話を作り、どうして動くのか、どうして音が伝わるのかを学びます。

- 開催日/2月13日(日)
- 募集/1月11日から
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮



ヒートンてなーんだ?

小3~6と保護者

### 雪の結晶作りと気圧実験

雲ができて雨が降るなど天気の話の聞き、雪の結晶作りや楽しい気象実験を行います。

- 開催日/3月6日(日)
- 募集/2月11日から
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮



実験で作った雪の結晶

\* 応募締切日は募集開始日から一週間程度です。HPにてご確認ください。

＜お申込方法＞ \*必ず保護者名をご記入下さい。  
HP: <https://shinagawa-eco.jp/>よりどうぞ!  
往復はがき: 講座名、希望日、参加者全員の氏名(保護者名も)、住所、電話番号、学年をご記入の上、右記宛先までお送りください。

【往復はがき宛先】  
〒140-0003 品川区八潮5-9-11 こみゆにていぶらざ八潮  
環境情報活動センター  
【問い合わせ】TEL: 03-5755-2200  
E-mail: center@shinagawa-eco.jp

\* 講座の日時、名称、内容などはいずれも予定です。最新の情報は、環境情報活動センターのホームページをご覧ください。2か月先までの講座をご案内しています。「広報しながわ」には募集開始日に掲載されます。

私が住んでいる石川県珠洲（すず）市は、日本海に突き出た能登半島にあり海に囲まれているのですが、私の育った家は珠洲市の真ん中の山の中にあります。そのため、海に囲まれた珠洲市に住んでいながら漁業について詳しくは知りませんでした。昨年度、漁業が盛んな町にある蛸島（たこじま）小学校の児童が行った「SDGs学習<ゴール9番>“産業と技術革新の基盤をつくろう”をテーマとした漁業についての調査」の結果発表を聞き、豊かな海をずっと守っていくために、漁師さんたちが様々な取り組みをしていることを知りました。そこでみなさんにも蛸島小学校の児童が調べてくれたことをご紹介します。



蛸島漁港

蛸島漁港で行っている網漁は、船から網を引っ張る底引き網漁と、海の中に網を設置する定置網漁があり、どちらも魚群探知機やレーダプロッターなどの技術を使って漁を行っています。

- ・魚を獲りすぎない資源管理型漁業の取り組みとして、魚を獲る網の目を大きくして小さい魚が逃げられるようにする。
- ・魚の種類別に1年間に水揚げする量を決めてそれ以上獲らないようにする。
- ・夏場の7月～8月は漁をお休みにする。
- ・蟹などは獲る期間を決めて、それ以外の期間は獲らない。
- ・漁師さんたちの休みの日を決めている。
- ・魚が網にかからないように逃げ場を設置する。
- ・給料は獲れた量で計算するのではなく一定にする、などがありました。

また、海をきれいにするために、網に入ってきたごみは陸に持ってきて捨てているそうです。

## 私たちにできること

調べて学習した児童の感想を紹介します。  
 「海に落ちているごみや捨ててあるごみを拾う」  
 「釣りに行ったら小さい魚は逃がす」「プラスチックごみの問題をみんなに知ってもらう」「給食を残さず食べる」「漁師さんや海の恵みに感謝

する」「環境に良い船を開発する」「お父さんの漁業を手伝う」「漁業を続けていくためには、海の環境だけではなく山の環境も関わってることがわかった。今自分たちが取り組んでいることが未来にもつながっていくので、自分にできることを考え取り組んでいきたい」などの意見がありました。



定置網漁

撮影：金沢大学先端科学・社会共創推進機構博士研究員 岸岡智也

昨年度、能登SDGsラボでSDGs学習を行った児童の保護者を対象にアンケート調査を行いました。ご家族に漁師さんがいる方のコメントで、エコバックを使う人が増え、海に漂っているレジ袋が少し減ったという内容が記載されていました。私たちみんなで行っていることが海の環境を良くすることにつながっていることがわかりとてもうれしかったです。小さなことでも、コツコツと続けていくことが海を守ることになるので、自分たちにできることを見つけて続けていきましょう。

文責：能登SDGsラボ サブコーディネーター 高 真由美

能登SDGsラボHPに蛸島小学校の報告動画を掲載しています。



### しながわecoだより 2021年度第3号

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人  
 エコタウンしながわ

発行日：令和3年10月20日

住所：〒140-0003

品川区八潮5-9-11

TEL/FAX：03-5755-2200

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：https://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。